

HM11 Architect

MB&F





LMスプリットエスケープメントのストーリー

EVO-LUTION - 進化するエヴォ

洗練されたブラックとグリーンの台北バージョン

技術仕様

レガシー・マシンの「フレンド」たち スプリットエスケープメント エヴォ

MB&F - コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちらまでお問い合わせください

シャリス・ヤティガログル

cy@mbandf.com

アルノー・レジュレ

arl@mbandf.com

MB&F SA, Route de Drize 2,

CH-1227 Carouge, Switzerland

電話番号:+41 22 508 10 38

HM11 Architect



スイスの有名な建築家、ル・コルビュジエは「家は、住むための機械である」という言葉を残しました。MB&Fのマシンはいわば「住める機械」です。マシンが語るストーリーは、私たちを様々な場所や時間へといざない、時には別世界へと連れていってくれます。MB&Fのマシンは着用するものではなく、体験するものだとと言えるでしょう。

腕時計は家とは違うので、理解しにくいコンセプトかもしれませんが、家は家、時計は時計。間違えようがないほど、まったくの別物ではないか、という声も聞こえてきそうです。しかし今回、MB&Fは家と時計の境界線を曖昧にする、グレーの鉄筋や打ち立てのコンクリートを思わせる最新モデルを生み出しました。

それが、オロロジカルマシン N°11 アーキテクトなのです。

マキシミアンが作った家

1960年代半ばから後半にかけて、建築界は実験的な段階に入り、それまでの10年間とは大きく異なるデザインが生み出されました。戦後、建物は実用性を重んじた直線的な形となり、特定の目的を果たすための建築物が急造。しかしその後、その反動として、驚くほど人間主義的なアプローチを特徴とする小さなムーブメントが起きました。ただし、建築学者が言うところの「人間主義」とは異なるものです。

ここでの「人間主義」は、人の体や動きの曲線を考慮して作られているという意味であり、それらの建物は、人体の形、人間の目が捉える球状の視野、人が手足を動かした時に描く円、吐息の丸み（肺を膨らませる吸気、寒い冬の日、車の窓に後光のような水蒸気の輪を作る呼気）をテーマとして設計されたものでした。

これらの建築家は、自らを建築家と呼ぶ代わりに「住居学者 (habitologist)」と称し、まるで地球からブクブクと吹き出された気泡のような、あるいは大地から湧き出てきた、折れ曲がった指のような形の家を建てました。彼らが作る住宅は、泡のような形だったり、波打っていたり、人体の腱のように弧を描いたりしています。住居学者が建てたそれらの家を目にしたMB&F創設者のマキシミアン・ブッサーは「もしこの家を時計にしたらどうなるだろう？」と考えたのです。

マキシミアンが作った「家」の中核をなすのは、二重のドームを持つサファイアの屋根の下に配された中央のフライングトゥールピヨンです。空間的にも機能的にもこの時計の中心となっている四つ葉形のアッパーブリッジは、壮麗な教会や寺院の高窓を彷彿とさせます。あるいは受胎の瞬間に細胞分裂する接合子（卵子と精子が結合したもの）を思い浮かべる人もいるでしょう。回転するコア部分から外に向かって、シンメトリーに配されている4つの立体的なモジュールは、この家、すなわち「HM11 アーキテクト」の4つの部屋となっています。

家の構造全体が土台の上で回転し、各部屋にアクセスできる仕組みで、部屋同士の角度は90度になっており、1つの部屋を真正面に配置することも、廊下にあたる部分を真正面にして、部屋が左右に向くよう配置することもできます。向きを自由に変えられる



この構造には、実用的な側面もあります。HM11 アーキテクトの構造はエネルギー効率に優れており、時計回りに45度回転させるたびにカチッとクリックする感触が指に伝わり、クリックごとに72分間のパワーを香箱にチャージすることができます。つまり、360度、10回転させると、HM11は最大96時間のパワーを蓄えることができるのです。

4つの部屋のインテリアはすべて、光沢のある白い壁にサファイアクリスタルの窓ガラスという共通したデザインとなっているが、その機能は部屋ごとに異なっています。まず1つ目は、時間と分を表示する時刻の部屋。アワーマーカーの役割を果たしているのは棒の先に小球が付いたパーツで、やや大きめで明るいポリッシュ仕上げのアルミニウム製の小球が12時、3時、6時、9時を示し、それ以外の時刻は、より暗い色のポリッシュ仕上げのチタン製小球で表されています。時針と分針の先端に配された赤い矢印は、落ち着いたデザインの時刻の部屋を彩るアクセントとなっています。

時刻の部屋の90度左にあるのは、パワーリザーブ表示の部屋。時刻の部屋と同じデザインでまとめられたこの部屋では、先端に小球が付いた棒状のパーツと赤い矢印が付いた針が、HM11の香箱のパワーリザーブ残量を示します。時計回りに進むにつれて5つの小球の直径がだんだんと大きくなり、直径2.4mmの最も大きなポリッシュ仕上げのアルミニウム製の小球は、96時間フルチャージされた状態を示します。





LMスプリットエスケープメントのストーリー

EVO-LUTION - 進化するエヴォ

洗練されたブラックとグリーン の台北バージョン

技術仕様

レガシー・マシンの「フレンド」たち スプリットエスケープメント エヴォ

MB&F - コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちらまでお問い合わせください

シャリス・ヤティガログル

cy@mbandf.com

アルノー・レジュレ

arl@mbandf.com

MB&F SA, Route de Drize 2,

CH-1227 Carouge, Switzerland

電話番号:+41 22 508 10 38

HM11 Architect



その隣の部屋には(家庭ではお馴染みだが)時計ではほとんど見られない機器である、温度計が装備されています。HM11では、金属板を2枚貼り合わせたバイメタルストリップを用いた機械的な温度表示システムが採用されています。高精度の電子温度計やサーモスタット制御のスマートホームが普及している現代においては、この方式は古風に思えるかもしれません。この機械式システムは外部からの電力なしで機能するもので、ディスプレイには摂氏バージョンと華氏バージョンがあります。

最後の部屋は白い空洞になっており、唯一のデザイン要素として、MB&Fのバトル・アックスのモチーフが刻まれた小さな丸いバジが、サファイアクリスタルの窓にはめ込まれています。この一見何もないように見える空間は、実は、HM11の時刻設定のためのリユーズとしての役割を果たしており、透明のモジュールを引っ張ると、カチッと音がして開放されます。これは、HM11の正面玄関であると同時に鍵でもあり、これを回すことで時刻を合わせることができます。

HM11の各部屋の外壁はポリッシュ仕上げのグレード5チタン製。光が降り注ぐ中央の開放的なアトリウムは、二重ドームのサファイアクリスタルの屋根で覆われています。屋根の下には自社製HM11エンジンが搭載され、フライングトゥールビヨンのテンプが2.5Hz(18,000vph)のベースで鼓動します。PVD(物理蒸着)処理でカラーリングした地板とブリッジは、オゾンブルーと太陽の光を思わせる温かみのある5Nゴールドの2色展開。HM11のこれら2つのエディションは各25点ずつの限定生産となります。



MB&F





LMスプリットエスケープメントのストーリー

EVO-LUTION - 進化するエヴォ

洗練されたブラックとグリーン の台北バージョン

技術仕様

レガシー・マシンの「フレンド」たち スプリットエスケープメント エヴォ

MB&F - コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちらまでお問い合わせください

シャリス・ヤディガログ

cy@mbandf.com

アルノー・レジュレ

arl@mbandf.com

MB&F SA, Route de Drize 2,

CH-1227 Carouge, Switzerland

電話番号:+41 22 508 10 38

HM11 Architect



HM11のケースについて

マキシミアン・ブッサーが考案したオロロジカルマシン N°11 アーキテクトの発想の源となった家々に共通していたのは、有機的なデザインでした。そのフォルムは遊び心に満ちていて、意外なところに膨らみや突起がある奇想天外な形でした。実験的なアイデアを形にするにはどうすればいいのだろうか。「もし家を、時計にしたらどうなるだろうか?」という質問には、どう答えればいいのか。最初の設計図が作られたのは2018年のことでした。作成したのはMB&Fのデザインプロセスの中心人物であったエリック・ジルーで、HM11のレイアウトには、彼の建築のバックグラウンドがしっかりと反映されていました。周りに4つの部屋が配された中央の吹き抜け。透明で光を取り込むデザイン。外観と作用し合うインテリアの空間。その曲線的な形状は、人体の形との親和性が高いという意味では原始的であり、枠に縛られないビジョンは未来的であると言えます。

HM11 アーキテクトの2つのローンチエディションに採用された素材は、チタンとサファイアクリスタル。どちらも機械加工が極めて難しいことで知られる素材で、複雑な形状の時計に使用できるようになったのは、ここ20年ほどのことです。HM11のケースの下半分には、内側と外側の表面の形が異なる、高度な立体形状のグレード5チタン製シェルを装備。HM11の4つの部屋の上部キャップは別々に加工されており、これはムーブメントを取り付けてからでないと、キャップを装着できないことが理由です。HM11のケースの製作ではフライス加工、仕上げ加工、品質管理といった工程が必要で、すべての作業が完了するまでに約1週間を要します。

MB&Fのオロロジカルマシンは、時計に使用されるサファイアクリスタル製パーツを高度に洗練させたことで高い評価を確立してきましたが、オロロジカルマシンN°11も、もちろん例外ではありません。HM11のケースには、外に面しているサファイアクリスタル製パーツが6つあります。その中で最も大きいのが、2つのサファイアクリスタル製ドームを同心円状に重ねたパーツで、透明なアトリウム屋根の部分に使われています。射出成形のアクリルと冒険的なデザインが熱心に取り入れられた1970年代の住宅建築には、こうしたドーム型天窓が多く見られます。

時計業界において前代未聞の直径約10mmのシースルー・リュースからは、ムーブメントがよく見えます。サファイアクリスタルを使用したこのサイズのリュースは、審美的には申し分ないインパクトを放っていますが、克服すべき技術的課題もあります。リュースは、ムーブメントに水やホコリが入る主な経路となるため、時計の性能を損なわないよう防水・防塵のためのガスケット(パッキン)が必須です。従来の時計のリュースに装着されるのは直径2mmほどのガスケットで、ほとんどの場合、それで十分保護できます。そうしたガスケットの多くはゴム状ポリマー製で、リュースを回すと摩擦が生じるが、ごくわずかなので、通常の使用では気にならないレベルです。

一方、オロロジカルマシンN°11の場合、リュースが通常の5倍の大きさであるため、従来のガスケットを単純に大きくしただけでは、サイズに比例して摩擦が大きくなり、リュースにプレーキがかかって使えなくなってしまう。そこで採用したのが、宇宙船や



潜水艇の二重エアロック・セキュリティシステムに用いられているような2組のガスケットです。時計の外縁に施された大きな低摩擦ガスケットは、サファイアクリスタルの窓からホコリが侵入するのを防ぐのに十分な気密性をもたらしています。ムーブメントの中心付近には、直径のより小さい防水ガスケットが、リュースの軸を取り囲むように装備されています。このサファイア製リュースのためだけに、合計8個のガスケットが用いられているのです。

ケースと外側に付けられている各 부품の作りが複雑であるため、ケースと内部のムーブメントの完全性を保証するために合計19個ものガスケットが必要となります。HM11 アーキテクトに装備されているガスケットのうち最大のもは、Oリング構造で3次元形状を持ち、ケースとベゼルの間に配置されています。このガスケット1個のために特注で金型が鋳造されました。この大型ガスケットとその他18個のガスケットは目的に合わせた特別な設計が施されており、HM11という家を様々な要素から守り、安全性を確保する役割を果たし、2ATM(20m)の防水性能を実現しています。

20世紀半ばから後半に建築された「泡の家」は、建築技術の進化によって可能になったもので、当時としてはあまりに奇抜で「そんなものが建てられるはずがない」と思われていた素材や方法を用いて建築されています。このことは、MB&FのオロロジカルマシンN°11 アーキテクトにも当てはまります。多くの場合、新しいものには、新しい方法が必要です。真の変化は、それまでとは異なる考え方から始まり、それまでとは異なる生き方をするのでその変化は持続するのです。

立体的で建築的なコンセプトやムーブメントの複雑さにもかかわらず、HM11のケースは直径わずか42mmという驚きのサイズを実現しています。ストラップの取り付け部分でもあるケースの脚部が曲線的な形状であるため、手首にしっかりと馴染み、着け心地も快適です。この脚のおかげで、様々なサイズの手首にフィットし、ゼンマイを巻き上げるためにケースを回転させる時の安定性も確保されています。



LMスプリットエスケープメントのストーリー

EVO-LUTION - 進化するエヴォ

洗練されたブラックとグリーン の台北バージョン

技術仕様

レガシー・マシンの「フレンド」たち スプリットエスケープメント エヴォ

MB&F - コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちらまでお問い合わせください

シャリス・ヤティガログ

cy@mbandf.com

アルノー・レジュレ

arl@mbandf.com

MB&F SA, Route de Drize 2,

CH-1227 Carouge, Switzerland

電話番号:+41 22 508 10 38

HM11 Architect



HM11のエンジン

物理的にも概念的にも、HM11 アーキテクトのエンジンで重視されているのは「パワーと効率」です。

機械式時計において、香箱はすべての動力の貯蔵庫であるが、その動力を生み出す源は、時計を装着している人の手首です。偶発的な動作(が自動巻き機構と連動して)または(リュースを使った)手動による巻き上げによって香箱にエネルギーが供給されます。HM11では、これら2つのエネルギー供給方法が採用されているため、時計の巻き上げは、(部屋の向きを変えた時に)偶発的に行われたり、意図的に行われたりすることになります。また、巻き上げの動作自体も増幅されています。すなわち、直径の小さいリュースを回す代わりに、時計自体を回すことになるため、1つの動作が時計に与えるパワーが大きくなります。

パワーリザーブ48時間の標準的な時計の場合、完全に巻き上げるにはリュースを20~30回転させる必要がありますが、HM11の場合、ケースを時計回りに10回転させるだけで、96時間駆動するパワーを蓄えることができます。

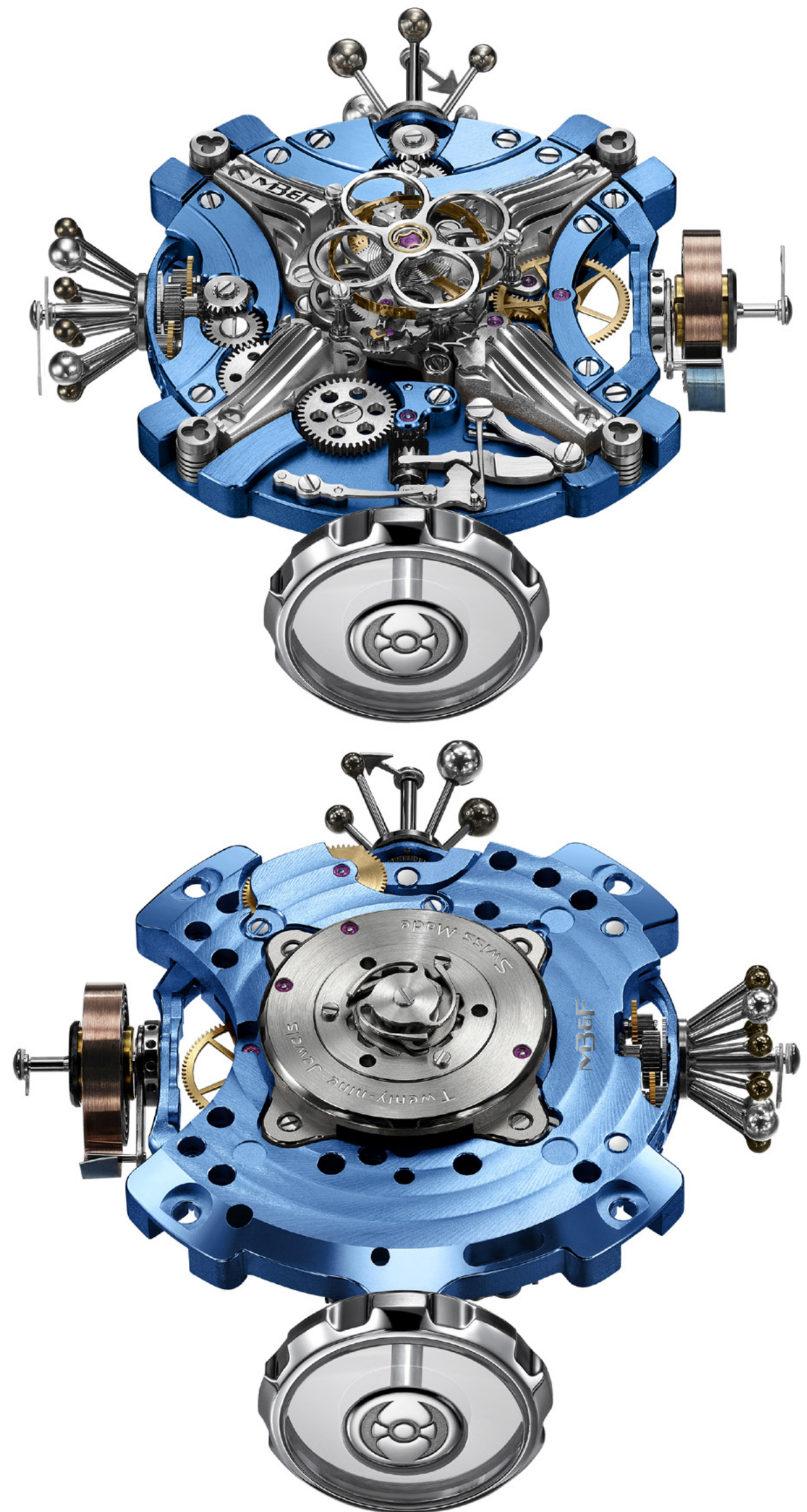
リュースのような直径の小さい部品ではなく、ケース自体を回転させる仕組みにより、巻き上げ機構にかけられるトルクの上限も引き上がります。これはシンプルな物理学です。回転する部品の直径を大きくすれば、それを回転させるのに必要なエネルギーを減らすことができます。つまり、HM11 アーキテクトの主ゼンマイをより直接的に、より速く巻き上げることができるのです。

HM11 アーキテクトの計時能力を制御するフライングツールピヨンは、MB&Fの機械的アイデンティティのカギとなる要素であり、オロロジカルマシン6および7とレガシー・マシン フライングTにも搭載されています。その大きなテン輪は、システム全体の慣性を高め、クロノメーターの安定性の面ではメリットをもたらしますが、ツールピヨンは(特にフライングツールピヨンは)衝撃に弱く、性能に支障をきたすおそれのある脆弱性もはらんでいます。時計に用いられる従来の耐衝撃ソリューションは、特定の部品、特に天眞を保護するように設計されたものが一般的で、ムーブメント全体を保護する全般的な耐衝撃ソリューションはあまり見かけません。ところがHM11では、個々の部品に耐衝撃性能を追加するのではなく、システム全体への衝撃を緩めるダンパーが組み込まれています。これは、ムーブメントと下部ケースシェルの間に配された4つの高張力サスペンション・スプリングで構成されています。

このサスペンションには、ワイヤーで作られた単純なコイルスプリングではなく、低炭素・高硬度のスティール製チューブからレーザーで切り出され、クロム仕上げされたカスタム仕様のスプリングが用いられています。このスティール特有の合金組成と結晶構造が、優れた耐摩耗性を実現しており、スプリングは表からは見えませんが、その仕上げと円筒形のフォルムは見た目も美しく、審美的価値をもたらしています。これは、航空宇宙産業向けの技術を応用して作られたものであり、時計業界でこのようなスプリングを使用しているのは、MB&Fにおいて他にありません。



現代の時計製造においては、他の産業から新技術を取り入れるのは珍しいことではありませんが、逆にあえて古い技術を取り入れるというのは稀です。HM11 アーキテクトに搭載された機械式温度計には、異素材間の熱膨張係数の違いを利用した、何世紀にもわたって受け継がれてきた昔ながらの原理が採用されています。とはいえ、時計に温度計を装備するというのは、斬新で突飛な発想でしょう。細いらせん状に成形したバイメタルストリップ(2枚の異なる金属の板を貼り合わせたもの)にラックとレバーが取り付けられ、そのストリップの伸縮によってラックが回転して角度が変わり、レバーが動き、そのレバーが温度を示す針の動きを制御するという仕組みです。従来のバイメタルストリップの素材はラミネート加工された銅とスティールでしたが、現代の機械式温度計のメーカー各社は、それぞれ独自の合金を用いて計器の精度と信頼性を向上させています。HM11の機械式温度計で測定できる温度は、-20~60°C(0~140°F)で、最も一般的な温度単位(摂氏と華氏)を示す2つのバージョンがあります。





LMスプリットエスケープメントのストーリー

EVO-LUTION - 進化するエヴォ

洗練されたブラックとグリーンの台北バージョン

技術仕様

レガシー・マシンの「フレンド」たち
スプリットエスケープメント エヴォ

MB&F - コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちらまでお問い合わせください

シャリス・ヤティガログル

cy@mbandf.com

アルノー・レジュレ

arl@mbandf.com

MB&F SA, Route de Drize 2,

CH-1227 Carouge, Switzerland

電話番号:+41 22 508 10 38

HM11 Architect



HM11 アーキテクト - 技術仕様

HM11 アーキテクトのエディション:

- チタン製ブルー文字盤プレート、25点限定生産

- チタン製レッドゴールド文字盤プレート、25点限定生産

エンジン

リバース・トゥールビヨン、時・分表示、パワーリザーブ表示、温度計から成る、ベベルギアを特徴とするMB&F自社製3次元オロロジカルエンジン。

機械式ムーブメント、手巻き(ケース全体を時計回りに回転させて巻き上げる)

パワーリザーブ: 96時間

テンプの振動数: 2.5 Hz (18,000 bph)

地板: ブルーと5NのPVD処理

ムーブメントの部品数: 364部品

石数: 29石

機能 / 表示

時と分

パワーリザーブ

温度(摂氏-20~60度または華氏0~140度)

ケース

グレード5チタン

ディスプレイマーカー: ステンレススティール製円錐ロッド(直径0.50 mm~0.60 mm)、暗めの色のポリッシュ仕上げチタン製小球、

明るめの色のポリッシュ仕上げアルミニウム製小球(直径1.30 mm~2.40 mm)

サイズ: 直径42 mm x 高さ23 mm

ケースの部品数: 92部品

防水性能: 20 m / 68フィート / 2ATM

サファイアクリスタル

トップ、裏面および各部屋のサファイアクリスタルは両面反射防止加工済み

サファイアクリスタル製リュース

ストラップ&バックル

ラバーストラップ - ブルーモデルはホワイト、レッドゴールドモデルはカーキグリーン

チタン製ピンバックル





HM11 Architect



HM11 アーキテクト担当の「フレンド」たち

コンセプト: マキシミアン・ブッサー (MB&F)
製品設計: エリック・ジルー
技術・製造管理: セルジュ・クリクノフ (MB&F)
ムーブメントデザインと仕上げ仕様: MB&F
ムーブメント開発: トマ・ロレンザト、ロバン・コトレル (MB&F)
ケース開発: トマ・ロレンザト、ロバン・コトレル (MB&F)
研究開発: トマ・ロレンザト (MB&F)
メソッドとラボ: マエル・メンデル、アントニー・ミュニエ (MB&F)

ホイール、ピニオン、ムーブメント、軸の構成部品: ポール＝アンドレ・タンドン (Bandi)、ダニエル・ギュミ (Decobar)、Le Temps Retrouvé、NTE
面取り加工されたテンフ: Roud'hor
地板: バンジャマン・シニユード (AMECAP)
ブリッジ: ロドリグ・ポーム (HorloFab)、2B8
ムーブメント部品仕上げ: Decotech、D-Tech、DSMI
PVD処理: ピエール＝アルベール・ステインマン (Positive Coating)
ムーブメント組み立て: ディディエ・デュマ、ジョルジュ・ヴェイジー、アンヌ・ギテール、エマニュエル・メートル、アンリ・ポルトブフ、マチュー・ルクルトル、アマンディーヌ・バスクル (MB&F)
アフター・サービス: アントニー・モレノ (MB&F)
社内機械加工: アラン・ルマルシヤン、ジャン＝パティスト・プレト、ステファニー・カルヴァロ＝コレリア、ヨアン・ジョイヤール (MB&F)
品質管理: シリル・ファレ、ジェニファー・ロングベ (MB&F)
ケース: AB Product
ケース装飾: AB Product
小球と棒: NTE
バックル: G&F Châtelain
リュース: Boninchi
針: Waeber HMS
サファイアクリスタル: Novocrystal
メタライゼーションおよび反射防止加工: Econorm
ストラップ: Multicuir
化粧箱: オリヴィエ・ベルトン (Soixanteetonz)

プロダクションロジスティクス: アシュレイ・ムシエ、ティボー・ジョアナール、ダヴィド・ガヴォット、ソフィ・エルメル、マリリン・ルヴェック、エミリー・ビュルニエ (MB&F)

マーケティングと広報: シャリス・ヤディガログル、ヴァネッサ・アンドレ、アルノー・レジュレ、ポール・ゲ、タルヤ・ラカン (MB&F)
グラフィックデザイン: シドニー・ベイ (MB&F)
M.A.D.ギャラリー: エルヴェ・エティエンヌ、マルゴ・ディオニジオ＝セラ (MB&F)
セールス: ティボー・ヴェルドンク、ヴィルジニー・マルシオン、セドリック・ルーセル、ジャン＝マルク・ポリー、オーギュスタン・シヴォ (MB&F)
テキスト: スザンヌ・ウォン (Worldtempus)
製品撮影: ローラン＝グザヴィエ・ムラン、エリック・ロシエ
マクロショットと工房撮影: ファビアン・ニッセル
CGI ビジュアル: エセキエル・ピニ (Six N. Five)
映像: パスカル・ジラルダン、スレイマン・ヤツキ (Freestudios)、オヌール・センチュルク (Onur Senturk TV)
ポートレート撮影: レジス・ゴレ (Federal)
ウェブサイト: ステファン・パレ (Idéative)

LMスプリットエスケープメントのストーリー

EVO-LUTION - 進化するエヴォ

洗練されたブラックとグリーンの台北バージョン

技術仕様

レガシー・マシンの「フレンド」たち
スプリットエスケープメント エヴォ

MB&F - コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちらまでお問い合わせください

シャリス・ヤディガログル

cy@mbandf.com

アルノー・レジュレ

arl@mbandf.com

MB&F SA, Route de Drize 2,
CH-1227 Carouge, Switzerland
電話番号: +41 22 508 10 38

MB&F





HM1 Architect



MB&F—コンセプトラボの誕生

2005年に設立されたMB&Fは、世界初の時計コンセプトラボである。ブランドはこれまでに約20種類の秀逸なキャリバーを開発し、それらをベースにして製作されたオロジカルマシンとレガシー・マシンは高い評価を得てきた。そして現在も、創業者でありクリエイティブディレクターでもあるマキシミアン・ブッサーのビジョンに基づき、従来の時計作りの殻を破ってキネティックアートを思わせる立体感豊かな作品を生み出し続けている。

マキシミアン・ブッサーは15年間にわたり高級腕時計ブランドをマネージング。2005年ハリー・ウィンストンのマネージングディレクターの職を辞し、MB&F(マキシミアン・ブッサー&フレンズ)を創立。MB&Fは、ブッサーが尊敬し、働く喜びを分かち合うことのできる才能あるオロジカル職人を集め、先鋭的なコンセプト・ウォッチのデザインと小規模生産を行う芸術的なマイクロエンジニアリング・ラボである。

2007年、MB&Fは初のオロジカルマシンHM1を世に送り出した。HM1の彫刻のような立体的なケースと美しく仕上げたエンジン(ムーブメント)は、その後のブランド特有のオロジカルマシンの基準となり、その後、時を告げるためというより、「時を語る」マシンが数多く生み出されていく。こうして製作されたオロジカルマシンでは、宇宙(HM2、HM3、HM6)や大空(HM4、HM9)、道(HM5、HMX、HM8)、そして水中世界(HM7、HM10)を探索するマシンがイメージされている。

2011年には、MB&Fはラウンドケースのレガシーマシン コレクションを発表。これらはMB&Fにとってよりクラシカルなものである。現代的な芸術品を創作するために往年の偉大な時計製造革新者とは異なる視点で複雑機構を解釈し、19世紀の腕時計製造の卓越性への敬意を払っている。LM1及びLM2に続いて発表されたLM101は、全て自社開発したムーブメントを搭載する初のMB&Fマシン。そして、コレクションの幅をさらに広げるLM パーベチュアル、LM スプリットエスケープメント、そしてLM サンダードームの登場。2019年には、史上初のレディース用MB&Fマシン「LM フライングT」の制作によりターニングポイントを迎え、2021年には、レガシー・マシン誕生10周年を記念してLMXを発表。MB&Fは創設以来、現代的で型破りのオロジカルマシンと、歴史からインスパイアしたレガシーマシンを交互に発表している。MB&Fの「F」が「フレンズ」(Friends)を表していることから分かるように、優れたアーティストや時計職人、デザイナー、様々な分野の製造業者をブランドにとっての「フレンド」と考え、協力関係を築くことはごく自然な成り行きだった。

そうした姿勢がブランドにもたらしたのが、パフォーマンスアートとコラボレーション作品という新たな2つのジャンルだった。パフォーマンスアート・モデルは、創造性豊かな社外のフレンドがMB&Fのマシンをベースにしてアレンジを加え、新たな形で表現した作品だ。一方、コラボレーション作品は、腕時計ではなく別のタイプのマシンで、MB&Fのアイデアとデザインに基づいて独創的なスイスのマニファクチュールが設計、製造する。レベ1839と共同で製作されたクロックなど、コラボレーション作品の多くは

時を語るマシンだが、リュージュやカラダッシュとのコラボレーションでは別の種類のメカニカル・アートが創作された。

ブッサーは、こうして誕生したあらゆるマシンに、その魅力を発揮できる舞台を与えるため、従来型のブティックに陳列するのではなく、他のアーティストによる多彩なメカニカル・アートとともにアートギャラリーに展示することを思いついた。このアイデアにより、ジュネーブに最初のMB&F M.A.D. ギャラリーが設立され(「M.A.D.」はMechanical Art Devices: メカニカル・アート・デバイスの略)、その後台北、ドバイ、香港にもM.A.D. ギャラリーがオープンした。

MB&Fがこれまでに成し遂げた革新的な成果に対しては、いくつもの権威ある賞が与えられてきた。名高い「ジュネーブ ウォッチグランプリ」においては、その年の最も優れた時計に授与される最高賞「金の針賞(エギューユ・ドール)」を含めた、9つものグランプリを獲得している。2022年、LM シーケンシャル エヴォが「金の針賞」を受賞。またM.A.D.1 レッドが「チャレンジウォッチ賞」を受賞。2021年にはLMXが「ベスト メンズ コンプリケーション賞」を、そしてLM スプリットエスケープメント エディ・ジャケ「Around The World in Eighty Days」が「アーティストック・クラフト賞」を受賞。2019年にはLM フライングTが「ベスト レディース コンプリケーション賞」を受賞し、2016年にはLM パーベチュアルが「ベスト カレンダー ウォッチ賞」を、2012年にはLM No.1が「パブリック賞(時計ファンによる投票)」と「最優秀メンズウォッチ賞(プロの審査員による投票)」をダブル受賞した。また2010年には、HM4サンダーボルトで「最優秀コンセプト&デザインウォッチ賞」を受賞。さらに2015年には、HM6スペースパイレーツが国際的な「レッドドット・デザイン賞」において最優秀賞である「レッドドット:ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞している。

LMスプリットエスケープメントのストーリー

EVO-LUTION - 進化するエヴォ

洗練されたブラックとグリーン の台北バージョン

技術仕様

レガシー・マシンの「フレンド」たち スプリットエスケープメント エヴォ

MB&F - コンセプトラボの誕生

詳細についてはこちらまでお問い合わせください

シャリス・ヤティガログル

cy@mbandf.com

アルノー・レジュレ

arl@mbandf.com

MB&F SA, Route de Drize 2,

CH-1227 Carouge, Switzerland

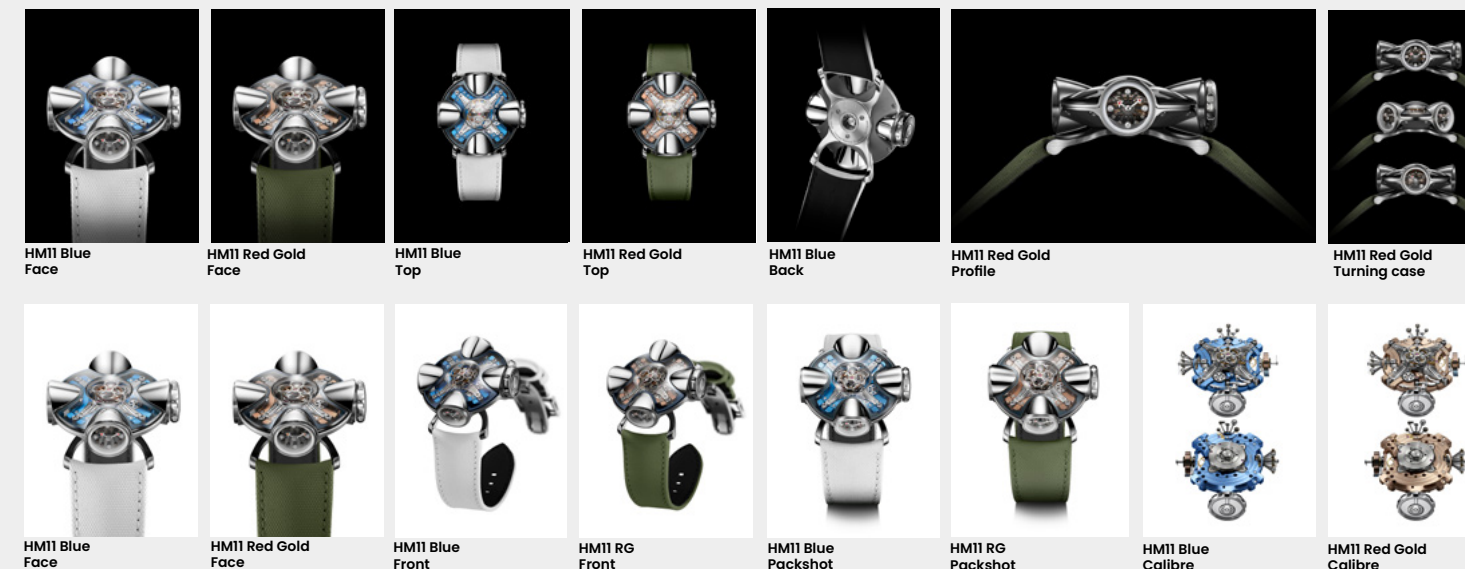
電話番号:+41 22 508 10 38

www.mbandf.com

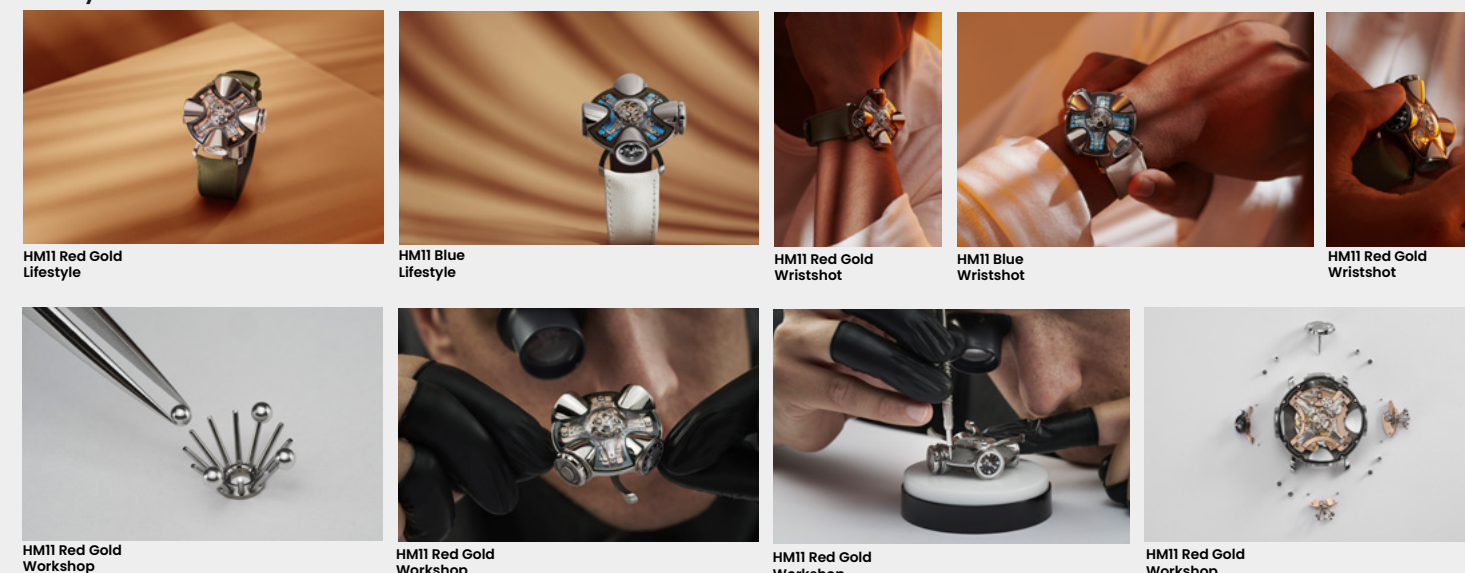
フォルダーコンテンツ

多言語のプレスリリースを表示したり、全商品画像(低解像度・高解像度)にアクセスするにはこちらをクリックしてください

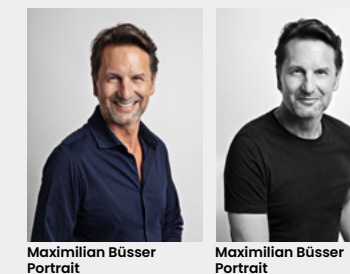
The machine



Lifestyle



Maximilian Büsser



Maximilian Büsser Portrait

The Friends



Friends Landscape

Film



HM1 Architect Movie



Follow us on social media @mbandf



WECHAT